



鱈をたらふく! ?ご堪能ください

冬の味覚で心も体もホット

～ 「にかほっと」PRイベント大寒鱈鍋まつり～

1月30、31日の両日、道の駅象潟ねむの丘特設会場にて大寒鱈鍋まつりが行われました。

にかほ市観光拠点センター「にかほっと」のオープンに向けた内覧会と併せて、冬の味覚“鱈”で地域活性化をはかろうと鱈鍋や鱈福バーガーなど会場はまさに鱈づくし。特に鱈鍋は2日間で653杯が売れる大盛況ぶりでした。また、大人気にかほっぺんが登場すると、子供たちはトレードマークのほっぺにタッチしていました。

「にかほっと」は、3月1日からプレオープンで一部店舗が営業開始し、4月9日にグランドオープンします。

「鬼は外、福は内」

～ 節分行事～

2月3日、にかほ保育園で行われた節分行事では、「風邪ひき鬼」や「いじわる鬼」、「話を聞かない鬼」など退治したい鬼を園児たちが発表し、心の中に潜む悪い鬼を追い払いました。

豆まきでは、太鼓の音と同時に職員が扮する鬼が登場すると、鬼の迫力に子どもたちの表情ががらりと変化。園児たちは「鬼は外、福は内」と泣くのをこらえながらも豆まきに奮闘し無事に鬼を退治しました。その後、福の神が現れ福をもたらす「福の紙?」をまくと、園児たちは縁起のいい「福」を無我夢中で拾っていました。



豆まきで悪い鬼を退治する園児たち

伝統行事と旬の味で賑わう

～ 掛魚まつり～

2月4日、金浦山神社を会場に恒例の掛魚まつりが行われました。300年以上の歴史を持つこの行事は、海上安全や豊漁祈願を目的に行われ、参加者らは荒縄に吊るした寒鱈を担ぎながら約2kmの道のりを歩き、寒鱈を奉納しました。

また、晴天に恵まれた勢至公園の芝生広場では、タラ汁の販売やタラ担ぎ体験などのイベントが行われました。タラ汁の販売には、旬の味覚を味わおうとたくさんの来場者が長蛇の列を作り、寒空に湯気が立つ出来立ての美味しいタラ汁を満喫する姿が見られました。



48本の寒鱈が奉納された掛魚まつり



災害に強いかほ市を目指して

スマホアプリが避難所をガイド

～ 避難所等情報提供に関する協定調印式～

1月22日、市役所象潟庁舎において、ファーストメディア株式会社と市の、避難所等情報提供に関する協定調印式が行われました。この協定により災害時に必要不可欠な情報を無償で提供することなどが約束されました。

同社は起動すると自身の現在地から最寄りの避難所までの経路を確認できる機能が盛り込まれているスマートフォン専用アプリ「全国避難所ガイド」を運営中。アプリを登録していれば、当市の避難所や公園等を知らない観光客や外国人も安全に避難できるようになります。

市民の皆さんもぜひご利用ください。

約400人の大行進

～ 第49回白瀬中尉をしのぶ集い～

1月28日、日本人初の南極探検家・白瀬中尉の偉業をたたえ第49回白瀬中尉をしのぶ集いが金浦地域で開催されました。集いは午前に行進と、午後には冒険家・阿部雅龍氏による講演会の2部制で行われました。

雪中行進では、金浦中の生徒、金浦小の児童らを中心に約400人が金浦公民館から南極公園までの2・5kmを練り歩きました。この日は、積雪も降雪もなく「雪中」とはならなかったものの、参加者らは南極探検旗を振りながら、郷土の偉人に負けじと力強く行進しました。

集いの継続は来年で半世紀を迎えます。



400人の大行進が記念館前を通過

高齢者・障がい者等の災害対策強化へ

～ 災害時における福祉避難所の設置運営等に関する協定締結式～

1月29日、象潟庁舎において災害時における福祉避難所の設置運営等に関する協定締結式が行われました。

本協定は、市内において大規模な地震、風水害やその他の災害が発生した際に、避難行動要支援者への避難援護として福祉避難所の設置運営に関して協力を要請するもので、社会福祉法人の仁賀保中央福祉会・象潟健成会・明星福祉会・中央会、そして医療法人社団の薫風会の5つの法人と災害協定を締結しました。

今後は災害時の福祉避難所として、要支援者の迅速な受け入れなど更なる防災対策の向上が期待されます。



横山市長と協定締結した福祉・医療法人の皆さん